

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2023年10月24日まで（2013年10月25日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、目標リスク水準に応じたりスクのコントロールをはかりつつ、信託財産の十分な成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーフンド	グローバル・バランス・ファンド（安定成長型） マザーファンド 受益証券
	マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の株式および世界各国の債券（株式および債券への投資にあたっては、世界各国の金融商品取引所上場投資信託証券（ETF）を活用する場合があります。）
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の株式および世界各国の債券を主要投資対象とし、分散投資を行うバランス型ファンドです。 ・株式や債券等の資産配分を調整することにより、リスクのコントロールをはかります。 ・実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。 ・モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。また、同社は運用指図に関する権限のうち一部を、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニー（所在地：シンガポール）に更に委託することができます。 	
主な組入制限	ベビーフンド	<ul style="list-style-type: none"> ・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 ・株式および債券への実質投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式および債券への投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	毎年10月24日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定しますが、信託財産の十分な成長に資することに配慮して分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

グローバル・バランス・ファンド （安定成長型）



第8期（決算日：2021年10月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「グローバル・バランス・ファンド（安定成長型）」は、去る10月25日に第8期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株式 組入比率	株式 先物比率	債券 組入比率	債券 先物比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
		税 分	込 配	み 金						
	円	円	円	%	%	%	%	%	百万円	
4期(2017年10月24日)	11,338		0	8.5	—	—	26.5	—	68.1	906
5期(2018年10月24日)	10,858		0	△4.2	—	—	38.2	—	56.3	833
6期(2019年10月24日)	11,039		0	1.7	—	—	30.6	—	64.1	842
7期(2020年10月26日)	10,821		0	△2.0	—	—	24.0	—	69.8	812
8期(2021年10月25日)	11,347		0	4.9	—	—	23.2	—	70.8	751

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株組入比率	株先物比率	債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率
	円	騰落率					
(期首) 2020年10月26日	10,821	—	—	—	24.0	—	69.8
10月末	10,745	△0.7	—	—	24.1	—	69.5
11月末	10,993	1.6	—	—	23.7	—	70.3
12月末	11,069	2.3	—	—	23.7	—	70.7
2021年1月末	11,077	2.4	—	—	20.5	—	74.0
2月末	10,997	1.6	—	—	20.6	—	74.2
3月末	11,078	2.4	—	—	23.5	—	71.3
4月末	11,182	3.3	—	—	22.9	—	71.6
5月末	11,223	3.7	—	—	22.8	—	71.6
6月末	11,316	4.6	—	—	22.7	—	71.0
7月末	11,342	4.8	—	—	22.6	—	71.1
8月末	11,408	5.4	—	—	22.5	—	71.7
9月末	11,279	4.2	—	—	23.5	—	72.3
(期末) 2021年10月25日	11,347	4.9	—	—	23.2	—	70.8

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第8期：2020年10月27日～2021年10月25日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第8期首	10,821円
第8期末	11,347円
既払分配金	0円
騰落率	4.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ4.9%の上昇となりました。

▶ 基準価額の変動要因

上昇要因

先進国株式市況の上昇などがプラスに寄与しました。

第8期：2020年10月27日～2021年10月25日

投資環境について**▶ 国内株式市況****国内株式市況は、上昇しました。**

新型コロナウイルスの感染再拡大などが重しとなったものの、期末にかけては次期政権への景気対策期待などから上昇しました。

▶ 国内債券市況**国内債券利回りは、上昇しました。**

主要中央銀行による金融緩和姿勢の市場の見方に左右されたものの、期末にかけては米国での早期利上げ観測などを背景に上昇しました。

▶ 先進国株式（除く日本）市況**先進国株式市況は、上昇しました。**

米連邦準備制度理事会（F R B）、欧州中央銀行（E C B）による金融緩和姿勢の継続、新型コロナウイルスワクチン普及に伴う経済正常化期待や、好調な米企業業績が好感されたことなどから上昇しました。

▶ 新興国株式市況**新興国株式市況は、上昇しました。**

産業規制強化が嫌気された中国株が下落する局面もあったものの、新型コロナウイルスワクチン普及に伴う経済正常化期待などから上昇しました。

▶ 先進国債券（除く日本）市況**先進国債券利回りは、上昇しました。**

新型コロナウイルスワクチン普及に伴う経済正常化期待や、インフレ懸念の高まりなどを背景に上昇しました。

▶ 新興国債券市況**新興国債券利回りは、上昇しました。**

スプレッド（国債との利回り格差）が拡大したことなどを背景に上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ グローバル・バランス・ファンド （安定成長型）

当ファンドは、グローバル・バランス・ファンド（安定成長型） マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、期を通じてマザーファンドの組入比率を高位に保ちました。

▶ グローバル・バランス・ファンド （安定成長型） マザーファンド

当マザーファンドの運用は、世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の株式および世界各国の債券を主要投資対象とし、分散投資を行いました。なお、株式および債券への投資にあたっては、世界各国の金融商品取引所上場投資信託証券（ETF）も活用しました。

株式や債券等の資産配分を調整しリスクのコントロールを図りました。

外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

運用指図の権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しました。

ポートフォリオの資産配分は、定性的な要素（投資対象資産に対する投資環境見通し等）および定量的な要素（ポート

フォリオの目標リスク水準^{*1}、投資対象資産のリスク等）を判断基準として決定し、当ファンドの目標リスク水準は年率標準偏差6%としています。資産配分の調整は、ポートフォリオのリスク水準^{*2}が、目標リスク水準からあらかじめ定められた範囲を超えてかき離れた場合や投資対象資産に対する投資環境見通しに変更があった場合等に行いました。

こうした運用のもと適宜資産配分の調整を行い、債券は先進国債券（含む日本）を中心に50～80%程度、株式は先進国株式（含む日本）を中心に10～40%程度の組入れとしました。

*1 目標リスク水準とは、基準価額の変動リスクをコントロールするために用いる目標値です。当該数値はあくまで目標値であり、実際の運用では、ポートフォリオのリスク水準が目標リスク水準を上回る場合や下回る場合があります。リスク水準とは、ポートフォリオの評価額の変動リスクを年率標準偏差で表示したものです。

*2 ポートフォリオのリスク水準とは、ポートフォリオのリスクを管理するために算出する推定リスクのことをいい、ファンドの騰落率（実績）から算出した標準偏差とは異なります。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定しますが、信託財産の十分な成長に資することに配慮して、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第8期 2020年10月27日～2021年10月25日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,441

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ グローバル・バランス・ファンド （安定成長型）

引き続き、グローバル・バランス・ファンド（安定成長型） マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、マザーファンドの組入比率を高位に保つ方針です。

▶ グローバル・バランス・ファンド （安定成長型） マザーファンド

引き続き、世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の株式および世界各国の債券を主要投資対象とし、分散投資を行います。なお、株式および債券への投資にあたっては、世界各国のETFを活用する場合があります。

株式や債券等の資産配分を調整しリスクのコントロールを図ります。

外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

運用指図の権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託します。

ポートフォリオの資産配分は、定性的な要素（投資対象資産に対する投資環境見通し等）および定量的な要素（ポートフォリオの目標リスク水準、投資対象資産のリスク等）を判断基準として決定し、

目標リスク水準は年率標準偏差6%とします。資産配分の調整は、ポートフォリオのリスク水準が、目標リスク水準からあらかじめ定められた範囲を超えてかい離した場合や投資対象資産に対する投資環境見通しに変更があった場合等に行っていく方針です。

2020年10月27日～2021年10月25日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	176	1.574	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(110)	(0.987)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(61)	(0.548)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.038)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.019	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（投資信託証券）	(2)	(0.019)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	7	0.061	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.049)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(1)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	185	1.654	

期中の平均基準価額は、11,175円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

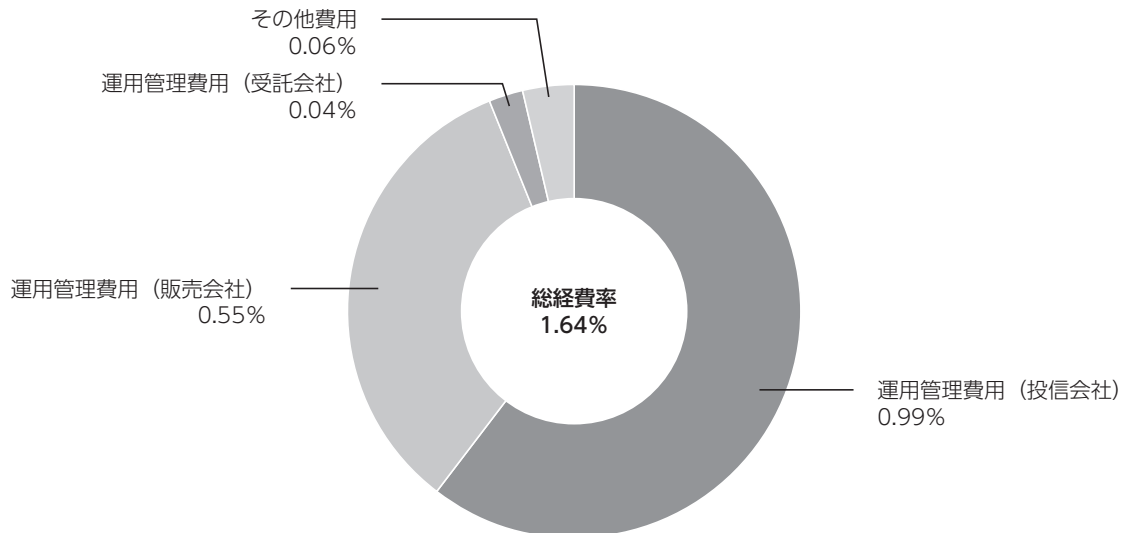
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.64%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年10月27日～2021年10月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・バランス・ファンド（安定成長型） マザーファンド	千口 8,786	千円 11,226	千口 97,441	千円 124,978

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月27日～2021年10月25日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・バランス・ファンド（安定成長型）>

該当事項はございません。

<グローバル・バランス・ファンド（安定成長型） マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年10月27日～2021年10月25日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 500	百万円 -	百万円 70	百万円 430	当初設定時における取得とその処分および商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

(2021年10月25日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバル・バランス・ファンド(安定成長型) マザーファンド	千口 665,394	千口 576,738	千円 743,589

○投資信託財産の構成

(2021年10月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
グローバル・バランス・ファンド(安定成長型) マザーファンド	千円 743,589	% 98.2
コール・ローン等、その他	13,833	1.8
投資信託財産総額	757,422	100.0

(注) グローバル・バランス・ファンド(安定成長型) マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(511,448千円)の投資信託財産総額(767,983千円)に対する比率は66.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=113.72円	1ユーロ=132.47円	1イギリスポンド=156.62円	
-----------------	--------------	------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年10月25日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	757,422,948
コール・ローン等	13,802,730
グローバル・バランス・ファンド（安定成長型） マザーファンド（併価額）	743,589,018
未収入金	31,200
(B) 負債	6,395,853
未払信託報酬	6,351,642
未払利息	7
その他未払費用	44,204
(C) 純資産総額（A－B）	751,027,095
元本	661,877,387
次期繰越損益金	89,149,708
(D) 受益権総口数	661,877,387口
1万口当たり基準価額（C/D）	11,347円

<注記事項>

- ①期首元本額 751,092,087円
 期中追加設定元本額 17,070,689円
 期中一部解約元本額 106,285,389円
 また、1口当たり純資産額は、期末11,347円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年10月27日～ 2021年10月25日
費用控除後の配当等収益額	8,812,484円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	13,523,156円
分配準備積立金額	73,104,084円
当ファンドの分配対象収益額	95,439,724円
1万口当たり収益分配対象額	1,441円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ③「グローバル・バランス・ファンド（安定成長型） マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年1万分の50の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

○損益の状況（2020年10月27日～2021年10月25日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,595
受取利息	25
支払利息	△ 1,620
(B) 有価証券売買損益	47,052,029
売買益	52,918,511
売買損	△ 5,866,482
(C) 信託報酬等	△12,888,128
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	34,162,306
(E) 前期繰越損益金	35,645,034
(F) 追加信託差損益金	19,342,368
（配当等相当額）	（ 13,499,039）
（売買損益相当額）	（ 5,843,329）
(G) 計（D＋E＋F）	89,149,708
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金（G＋H）	89,149,708
追加信託差損益金	19,342,368
（配当等相当額）	（ 13,523,156）
（売買損益相当額）	（ 5,819,212）
分配準備積立金	81,916,568
繰越損益金	△12,109,228

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

グローバル・バランス・ファンド（安定成長型） マザーファンド

《第16期》決算日2021年10月25日

〔計算期間：2021年4月27日～2021年10月25日〕

「グローバル・バランス・ファンド（安定成長型） マザーファンド」は、10月25日に第16期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・目標リスク水準に応じたリスクのコントロールをはかりつつ、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。 ・運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに主として世界各国の株式、債券および金融商品取引所上場投資信託証券（ETF）ならびに為替ヘッジ等に関する運用指図の権限を委託します。また、同社は運用指図に関する権限のうち一部を、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニー（所在地：シンガポール）に更に委託することができます。
主 要 運 用 対 象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の株式および世界各国の債券（株式および債券への投資にあたっては、世界各国のETFを活用する場合があります。）
主 な 組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式および債券への投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 単 位	価 額		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落	中 率						
	円		%	%	%	%	%	%	百万円
12期(2019年10月24日)	12,143	0.3	—	—	30.9	—	64.8	834	
13期(2020年4月24日)	11,537	△5.0	—	—	29.3	—	66.0	778	
14期(2020年10月26日)	12,094	4.8	—	—	24.2	—	70.5	804	
15期(2021年4月26日)	12,609	4.3	—	—	23.1	—	71.7	812	
16期(2021年10月25日)	12,893	2.3	—	—	23.5	—	71.5	743	

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率					
(期 首) 2021年4月26日	円	%	%	%	%	%	%
	12,609	—	—	—	23.1	—	71.7
4 月 末	12,605	△0.0	—	—	23.1	—	72.3
5 月 末	12,668	0.5	—	—	23.0	—	72.3
6 月 末	12,791	1.4	—	—	22.9	—	71.8
7 月 末	12,838	1.8	—	—	22.8	—	71.8
8 月 末	12,932	2.6	—	—	22.7	—	72.4
9 月 末	12,801	1.5	—	—	23.7	—	73.0
(期 末) 2021年10月25日	12,893	2.3	—	—	23.5	—	71.5

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変動要因

(上昇要因)

先進国株式市況の上昇などがプラスに寄与しました。

●投資環境について

◎国内株式市況

・国内株式市況は、上昇しました。新型コロナウイルスの感染再拡大などが重しとなったものの、期末にかけては次期政権への景気対策期待などから上昇しました。

◎国内債券市況

・国内債券利回りは、上昇しました。主要中央銀行による金融緩和姿勢の市場の見方に左右されたものの、期末にかけては米国での早期利上げ観測などを背景に上昇しました。

◎先進国株式（除く日本）市況

・先進国株式市況は、上昇しました。米連邦準備制度理事会（FRB）、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和姿勢の継続、新型コロナウイルスワクチン普及に伴う経済正常化期待や、好調な米企業業績が好感されたことなどから上昇しました。

◎新興国株式市況

- ・新興国株式市況は、下落しました。産業規制強化が嫌気された中国株などを中心に下落しました。

◎先進国債券（除く日本）市況

- ・先進国債券利回りは、上昇しました。新型コロナウイルスワクチン普及に伴う経済正常化期待や、米国での早期利上げ観測の高まりなどを背景に上昇しました。

◎新興国債券市況

- ・新興国債券利回りは、上昇しました。スプレッド（国債との利回り格差）が拡大したことなどを背景に上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・当ファンドの運用は、世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の株式および世界各国の債券を主要投資対象とし、分散投資を行いました。なお、株式および債券への投資にあたっては、世界各国の金融商品取引所上場投資信託証券（ETF）も活用しました。
- ・株式や債券等の資産配分を調整しリスクのコントロールを図りました。
- ・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。
- ・運用指図の権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しました。
- ・ポートフォリオの資産配分は、定性的な要素（投資対象資産に対する投資環境見通し等）および定量的な要素（ポートフォリオの目標リスク水準^{*1}、投資対象資産のリスク等）を判断基準として決定し、当ファンドの目標リスク水準は年率標準偏差6%としています。資産配分の調整は、ポートフォリオのリスク水準^{*2}が、目標リスク水準からあらかじめ定められた範囲を超えてかき離れた場合や投資対象資産に対する投資環境見通しに変更があった場合等に行いました。

- ・こうした運用のもと適宜資産配分の調整を行い、債券は先進国債券（含む日本）を中心に50~60%程度、株式は先進国株式（含む日本）を中心に25~40%程度の組入れとしました。

- *1 目標リスク水準とは、基準価額の変動リスクをコントロールするために用いる目標値です。当該数値はあくまで目標値であり、実際の運用では、ポートフォリオのリスク水準が目標リスク水準を上回る場合や下回る場合があります。リスク水準とは、ポートフォリオの評価額の変動リスクを年率標準偏差で表示したものです。
- *2 ポートフォリオのリスク水準とは、ポートフォリオのリスクを管理するために算出する推定リスクのことをいい、ファンドの騰落率（実績）から算出した標準偏差とは異なります。

○今後の運用方針

- ・引き続き、世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の株式および世界各国の債券を主要投資対象とし、分散投資を行います。なお、株式および債券への投資にあたっては、世界各国のETFを活用する場合があります。
- ・株式や債券等の資産配分を調整しリスクのコントロールを図ります。
- ・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。
- ・運用指図の権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託します。
- ・ポートフォリオの資産配分は、定性的な要素（投資対象資産に対する投資環境見通し等）および定量的な要素（ポートフォリオの目標リスク水準、投資対象資産のリスク等）を判断基準として決定し、目標リスク水準は年率標準偏差6%とします。資産配分の調整は、ポートフォリオのリスク水準が、目標リスク水準からあらかじめ定められた範囲を超えてかき離れた場合や投資対象資産に対する投資環境見通しに変更があった場合等に行っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年4月27日～2021年10月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 1 (1)	% 0.009 (0.009)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.026 (0.026) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	4	0.035	
期中の平均基準価額は、12,790円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2021年4月27日～2021年10月25日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 52,479	千円 65,435

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ダイワ上場投信ートピックス	千口 9	千円 18,750	千口 9	千円 21,208
外国	アメリカ		千アメリカドル		千アメリカドル
	ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	—	—	0.432	48
	ISHARES US TREASURY BOND ETF	2	76	13	354
	ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	0.223	30	1	140
	ISHARES TIPS BOND ETF	0.581	74	0.616	78
	ISHARES MSCI EMERGING MARKET	3	184	3	193
	SPDR BBG BARC HIGH YIELD BND	—	—	0.749	81
	SPDR S&P 500 ETF TRUST	0.626	264	0.624	271
	小計	7	629	20	1,170
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ルクセンブルク				
	X DAX	—	—	0.517	78
	LYXOR CORE MSCI EMU DR	4	242	2	151
	小計	4	242	3	229
	アイルランド				
	ISHARES GERMANY GOVT BND	0.578	83	0.611	88
	ISHARES FRANCE GOVT BND	0.56	88	0.651	102
	小計	1	171	1	190
	ユーロ計	5	414	4	420
	イギリス		千イギリスポンド		千イギリスポンド
ISHARES CORE FTSE 100	—	—	8	62	
ISHARES CORE UK GILTS	1	25	7	107	
小計	1	25	16	170	

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年4月27日～2021年10月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年10月25日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	172,550 (73,450)	174,423 (73,481)	23.5 (9.9)	— (—)	— (—)	13.6 (—)	9.9 (9.9)
合 計	172,550 (73,450)	174,423 (73,481)	23.5 (9.9)	— (—)	— (—)	13.6 (—)	9.9 (9.9)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	%	千円	千円	
国債証券				
第980回国庫短期証券	—	21,000	21,009	2022/ 3 /22
第1021回国庫短期証券	—	52,450	52,472	2022/ 3 /10
第334回利付国債 (10年)	0.6	99,100	100,942	2024/ 6 /20
合 計		172,550	174,423	

国内投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
ダイワ上場投信ートビックス	19	18	39,477	5.3
合 計	19	18	39,477	
	口 数 ・ 金 額	口 数	< 5.3% >	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1		

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカドル	千円	%	
ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	3	3	383	43,624	5.9	
ISHARES GNMA BOND ETF	0.488	0.488	24	2,757	0.4	
ISHARES US TREASURY BOND ETF	34	23	621	70,668	9.5	
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	5	4	563	64,052	8.6	
ISHARES TIPS BOND ETF	1	1	149	16,970	2.3	
ISHARES MSCI EMERGING MARKET	7	7	389	44,337	6.0	
SPDR BBG BARC HIGH YIELD BND	6	5	583	66,406	8.9	
SPDR S&P 500 ETF TRUST	1	1	812	92,442	12.4	
小 計	口 数 ・ 金 額	60	47	3,528	401,259	
	銘柄 数 < 比 率 >	8	8	—	< 54.0% >	
(ユーロ…ルクセンブルク)			千ユーロ			
X DAX	0.517	—	—	—	—	
LYXOR CORE MSCI EMU DR	5	7	420	55,670	7.5	
小 計	口 数 ・ 金 額	6	7	420	55,670	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	1	—	< 7.5% >	
(ユーロ…アイルランド)						
ISHARES GERMANY GOVT BND	0.344	0.311	44	5,943	0.8	
ISHARES FRANCE GOVT BND	0.987	0.896	140	18,605	2.5	
小 計	口 数 ・ 金 額	1	1	185	24,548	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 3.3% >	
ユ ー ロ 計	口 数 ・ 金 額	7	8	605	80,218	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	3	—	< 10.8% >	
(イギリス)			千イギリスポンド			
ISHARES CORE FTSE 100	12	3	27	4,319	0.6	
ISHARES CORE UK GILTS	8	3	41	6,519	0.9	
小 計	口 数 ・ 金 額	21	6	69	10,838	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 1.5% >	
合 計	口 数 ・ 金 額	89	63	—	492,316	
	銘柄 数 < 比 率 >	14	13	—	< 66.2% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2021年10月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	174,423	22.7
投資信託受益証券	39,477	5.1
投資証券	492,316	64.1
コール・ローン等、その他	61,767	8.1
投資信託財産総額	767,983	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（511,448千円）の投資信託財産総額（767,983千円）に対する比率は66.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.72円	1 ユーロ=132.47円	1 イギリスポンド=156.62円
------------------	---------------	-------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年10月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,265,967,705
コール・ローン等	41,866,077
公社債(評価額)	174,423,989
投資信託受益証券(評価額)	39,477,790
投資証券(評価額)	492,316,841
未収入金	517,399,290
未収配当金	276,835
未収利息	206,883
(B) 負債	522,398,485
未払金	522,367,268
未払解約金	31,200
未払利息	17
(C) 純資産総額(A-B)	743,569,220
元本	576,738,555
次期繰越損益金	166,830,665
(D) 受益権総口数	576,738,555口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,893円

<注記事項>

- ①期首元本額 644,105,576円
 期中追加設定元本額 7,445,933円
 期中一部解約元本額 74,812,954円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2893円です。

- ②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
 グローバル・バランス・ファンド（安定成長型） 576,738,555円

○損益の状況 (2021年4月27日～2021年10月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	6,695,489
受取配当金	6,394,821
受取利息	304,062
支払利息	△ 3,394
(B) 有価証券売買損益	12,356,785
売買益	42,833,232
売買損	△ 30,476,447
(C) 保管費用等	△ 211,604
(D) 当期損益金(A+B+C)	18,840,670
(E) 前期繰越損益金	168,018,906
(F) 追加信託差損益金	2,125,458
(G) 解約差損益金	△ 22,154,369
(H) 計(D+E+F+G)	166,830,665
次期繰越損益金(H)	166,830,665

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。